

Mizuho Daily Market Report

2026/3/9

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.57	157.78	+0.19	+1.73
EUR	1.1613	1.1618	+0.0009	▲0.0194
AUD	0.7044	0.7030	+0.0022	▲0.0088
SGD	1.2772	1.2777	▲0.0028	+0.0126
CNY	6.8979	6.9047	▲0.0066	+0.0423
MYR	3.9479	3.9475	+0.0028	+0.0550
THB	31.75	31.94	+0.34	+0.86
IDR	16924	16906	+23	+135
PHP	59.01	59.00	+0.38	+1.34
INR	91.68	91.75	+0.15	+0.77
VND	26224	26214	+25	+156

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.138%	+0.2 bp	+20.1 bp
日本(10年)	2.174%	+1.1 bp	+5.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.860%	+1.9 bp	+21.7 bp
オーストラリア(5年)	4.515%	+5.9 bp	+20.7 bp
シンガポール(5年)	1.582%	+0.0 bp	+5.8 bp
中国(5年)	1.537%	+0.2 bp	▲2.6 bp
マレーシア(5年)	3.348%	+0.5 bp	+3.5 bp
タイ(5年)	1.227%	+0.0 bp	+10.0 bp
インドネシア(5年)	5.963%	▲0.4 bp	+18.7 bp
フィリピン(5年)	5.763%	+8.7 bp	+28.5 bp
インド(5年)	6.375%	+4.4 bp	+9.7 bp
ベトナム(5年)	3.822%	+0.0 bp	+6.8 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	47,501.55	▲0.9%	▲3.0%
N225(日本)	55,620.84	+0.6%	▲5.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,719.90	▲1.1%	▲6.8%
ASX(オーストラリア)	5,519.58	▲1.2%	▲5.7%
FTSTI(シンガポール)	4,848.25	+0.0%	▲2.9%
SSEC(中国)	4,124.19	+0.4%	▲0.9%
SENSEX(インド)	78,918.90	▲1.4%	▲2.9%
JKSE(インドネシア)	7,585.69	▲1.6%	▲7.9%
KLSE(マレーシア)	1,718.06	+0.3%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,320.41	▲0.9%	▲4.4%
SETI(タイ)	1,410.37	▲0.5%	▲7.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,767.84	▲2.2%	▲6.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	352.12	+4.5%	+12.6%
金	5,171.74	+1.8%	▲2.0%
原油(WTI)	90.90	+12.2%	+1.1%
銅	12,817.14	▲0.3%	▲3.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	158.80
EUR/USD	1.1470	—	1.1850
AUD/USD	0.6785	—	0.7280
USD/SGD	1.2560	—	1.2880
USD/CNY	6.8260	—	7.0190
USD/MYR	3.8700	—	4.0030
USD/THB	30.50	—	32.45
USD/IDR	16550	—	17000
USD/PHP	56.10	—	59.90
USD/INR	89.70	—	92.50
USD/VND	25,900	—	26,300

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台半ばでオープン。東京時間午前中は売り買い交錯する中、157円台半ばでの小動き。午後はドル買い優勢でドル円は上昇基調。中東情勢悪化や片山財務相のデフレの言及が相場の下支えとなり、157円台後半で海外時間へ渡った。アジア通貨は対ドルで全般的に軟調推移。中東情勢緊迫化に伴うリスクオフの流れを受け、新興国通貨は売りが優勢となった。

欧州時間のドル円は157円台後半でオープン。米雇用統計の公表を控え、狭いレンジでの値動きとなり、結局158円ちょうど付近でNYへ。NY市場のドル円は朝方に発表された米2月非農業部門雇用者数変化がマイナスを記録した事や、失業率が予想より悪化した事が懸念され、発表後は157円台前半まで売られる。その後は一時158円ちょうど付近まで相場を戻す場面もあったが、米金利が再度低下する展開が重しとなり、157円台半ばまで反落。午後は週末を控える中、157円台後半までじりじり戻し、同水準にてクローズ。

【金利】

前週末の米債利回りはほぼ横ばい。米2月雇用統計が軟調な結果となったことから、米利下げ観測が高まり、一時米債利回りが下落する場面も見られたが、中東情勢緊迫化を受けた原油価格高騰がインフレ再燃に繋がるとの見方も依然強く、終盤にかけて相場を戻した。結局米10年債利回りは前日比+0.2bpの4.138%で引けた。

【予想】

本日のドル円は引き続き円安方向への圧力へ警戒が必要か。前週末の米2月雇用統計は予想対比弱い結果となるも、市場の反応は限定的。中東情勢緊迫化を受け原油先物価格は急上昇している状況となっているが、エネルギー輸入依存度が高い日本にとってはネガティブ材料。本日のドル円は為替介入への警戒感を睨みながら上値を迫る展開となると予想する。

【本日の予定】

(日本) 1月 国際収支:経常収支
(日本) 1月 景気動向指数(速)
(日本) 1月 毎月勤労統計
(日本) 2月 景気ウォッチャー調査
(日本) 2月 銀行貸出動向
(アジア) 1月 フィリピン 銀行貸出動向
(アジア) 2月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 2月 中国 CPI/PPI
(欧州) 1月 独 鋳工業生産
(欧州) 3月 ユーロ圏 センティックス投資家信頼感
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
(欧州) 独 国債入札(6M, 12M)
(米国) 2月 NY連銀1年インフレ期待